

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ユビキタス

コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家高 朋之

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 榎木 玲子

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日 配当支払開始予定日 —

TEL 03-5908-3451

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,058	28.4	551	53.9	553	52.1	324	164.4
22年3月期第3四半期	824	24.5	357	44.6	364	87.5	122	204.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	3,831.99	3,653.47
22年3月期第3四半期	1,465.98	1,445.16

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	2,425	2,168	89.0	25,263.43
22年3月期	2,074	1,787	85.9	21,294.92

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,159百万円 22年3月期 1,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,320	13.8	560	20.9	560	18.9	336	83.1	3,931.11

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 86,410株 22年3月期 84,600株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 938株 22年3月期 938株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 84,627株 22年3月期3Q 83,650株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間は、ネットワーク分野におけるロイヤルティ収入が好調であったほか、ゲーム分野におけるソフトウェア使用許諾料の一括売上高の計上もあり、売上高においては合計1,058,620千円（前年同四半期累計期間比28.4%増）を計上しました。形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高924,914千円、サポート売上高47,230千円、及びソフトウェア受託開発売上高86,475千円です。

分野別の業績については、以下のとおりです。

ネットワーク関連のうちゲーム分野においては、発売が予定されている携帯型ゲーム機の新機種「ニンテンドー3DS」向けに従来機種との互換機能にかかるソフトウェア使用許諾料の一括売上高の計上がありました。なお、当期以降につきましても、現行のニンテンドーDS向けWi-Fi対応ゲームに関しては、従来どおり継続してロイヤルティ収益を見込みますが、新機種に関する継続したロイヤルティ収益などの追加収益の予定はありません。ネットワーク分野においては、エコポイントによる搭載製品の販売が増大し、国内大手電機メーカーのレコーダーに搭載された「Ubiquitous Network Framework」、国内大手電機メーカーのテレビに搭載された「Ubiquitous DTCP-IP」が当初見込みを超えて量産ロイヤルティを獲得し、売上高を計上しております。

データベース関連では、平成22年11月に空間検索・全文検索機能をサポートした最新版であるUbiquitous DeviceSQL 5.0の発売を開始しました。売上高に関しては進捗が遅れが見えるものの、「Ubiquitous DeviceSQL」がデジタルカメラを中心に量産ロイヤルティを獲得し、売上高を計上しました。引き続き、機能強化した最新版のソフトウェア製品の採用拡大に向け営業活動に注力しております。

高速起動関連では、数件のソフトウェア開発キット販売によるソフトウェア使用許諾料とソフトウェア受託開発料の売上高を計上しており、量産予定数量は小規模であるものの製品での採用が決定しました。また、平成22年11月には、組込みプラットフォームであるAndroidに対応した「Android Pack」の提供を開始し、エンジニアリングサービスでの協業体制も強化しております。国内外より引き続き高い関心を頂き、数社との間で大・中規模案件の評価実装を継続中です。しかしながら、引き合いの拡大に伴い、対応すべき実装上の技術課題などが新たに発生し、収益化の進捗には遅れが見えます。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として352,501千円（同20.7%増）を計上し、また、経費として337,729千円（同34.4%増）を計上いたしました。なお、これらの人件費・経費のうち研究開発費は78,411千円（同9.1%増）です。

以上の結果、営業利益551,038千円（同53.9%増）、経常利益553,667千円（同52.1%増）、四半期純利益は324,290千円（同164.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より350,400千円増加して2,425,077千円となりました。満期までの期間が一年未満となった長期預金300,000千円の固定資産から流動資産への振り替え、売上債権の回収等により現金及び預金が592,210千円増加したこと、及び売上の増加に伴い売掛金が88,683千円増加したこと等により、流動資産は前事業年度末より688,407千円増加し2,105,946千円となりました。固定資産は338,006千円減少して319,131千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より30,957千円減少して256,527千円となりました。

流動負債は、買掛金が54,327千円増加する一方、未払金31,914千円や未払法人税等37,987千円の減少等により、前事業年度末より39,213千円減少し、248,270千円となりました。固定負債は資産除去債務の計上により8,256千円増加して8,256千円となりました。

また、純資産は、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金が前事業年度末よりそれぞれ26,725千円増加して、資本金551,400千円及び資本剰余金521,400千円となりました。利益剰余金は、四半期純利益324,290千円の計上により1,125,027千円となりました。以上により、純資産は前事業年度末より381,357千円増加して2,168,550千円となり、自己資本比率は、前事業年度末の85.9%から89.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間において、ネットワーク関連の売上高が予想を超えて推移した結果、年初想定した通期の売上高を上回る見込みであり、さらに下期に発生を見込んでおりました開発費用、営業マーケティング活動費用、及び経費の圧縮等を要因に、営業利益、経常利益、及び当期純利益についても前回予想を上回る見込により、平成22年5月7日に公表した平成23年3月期の通期業績を修正致しております。詳細につきましては平成23年2月4日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ831千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は8,193千円です。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,610,491	1,018,280
売掛金	434,103	345,420
仕掛品	31,663	—
前払費用	12,652	26,752
繰延税金資産	10,410	20,737
その他	6,625	6,348
流動資産合計	2,105,946	1,417,539
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,435	24,242
減価償却累計額	△3,543	△502
建物（純額）	28,891	23,739
工具、器具及び備品	33,716	32,464
減価償却累計額	△20,046	△15,882
工具、器具及び備品（純額）	13,669	16,582
有形固定資産合計	42,560	40,321
無形固定資産		
ソフトウェア	133,283	98,124
ソフトウェア仮勘定	14,735	27,547
商標権	2,486	2,755
無形固定資産合計	150,505	128,427
投資その他の資産		
長期預金	—	300,000
差入保証金	35,602	98,407
繰延税金資産	90,462	89,981
投資その他の資産合計	126,064	488,389
固定資産合計	319,131	657,138
資産合計	2,425,077	2,074,677

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,717	6,390
未払金	22,008	53,922
未払費用	10,982	12,480
未払法人税等	119,994	157,982
未払消費税等	21,216	20,138
前受金	9,416	30,153
未払配当金	2,181	2,325
預り金	1,752	4,091
流動負債合計	248,270	287,484
固定負債		
資産除去債務	8,256	—
固定負債合計	8,256	—
負債合計	256,527	287,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,400	524,675
資本剰余金	521,400	494,675
利益剰余金	1,125,027	800,737
自己株式	△38,511	△38,511
株主資本合計	2,159,316	1,781,576
新株予約権	9,234	5,617
純資産合計	2,168,550	1,787,193
負債純資産合計	2,425,077	2,074,677

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	705,782	924,914
サポート売上高	72,176	47,230
ソフトウェア受託開発売上高	46,200	86,475
売上高合計	824,159	1,058,620
売上原価	143,884	135,860
売上総利益	680,274	922,759
販売費及び一般管理費		
役員報酬	49,050	53,400
給料及び手当	77,337	102,275
賞与引当金繰入額	860	—
法定福利費	8,392	10,600
減価償却費	3,021	3,506
不動産賃借料	23,947	11,820
支払手数料	49,411	57,058
消耗品費	2,964	3,656
研究開発費	71,862	78,411
その他	35,491	50,991
販売費及び一般管理費合計	322,340	371,721
営業利益	357,933	551,038
営業外収益		
受取利息	3,846	665
雑収入	2,654	2,078
営業外収益合計	6,501	2,743
営業外費用		
支払手数料	334	—
為替差損	87	114
営業外費用合計	421	114
経常利益	364,013	553,667
特別損失		
投資有価証券評価損	126,958	—
本社移転損失引当金繰入額	28,623	—
特別損失合計	155,582	—
税引前四半期純利益	208,431	553,667
法人税、住民税及び事業税	159,469	219,530
法人税等調整額	△73,668	9,846
法人税等合計	85,801	229,377
四半期純利益	122,629	324,290

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当社は、組込ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。